

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

暑くても 暑くても 暑くても

自律した学習者になろう

校長式辞

夏休みはどうでしたか？
「人にはまねできない夏
休みに、出会いによってよ
り豊かな人生に」と終業
式で話しましたが、いか
がでしたか？

部活動・駅伝の練習で真っ
黒に日焼けした人、希望
する進路の実現、行きた
い高校に絶対合格するぞ、
という新たな目標に向かっ
て、目を輝やかせて学習
に励んでいる人、いろん
な経験をした43日間だっ
たと思います。

2学期のスタート。これ
から始まる2学期にどう
取り組むかで、君たちの
表情は、もっと輝いてきま
す。合唱コンクール「修
学旅行」「駅伝大会」「中総
体新人戦」「生徒会役員選
挙」、そして3年生は「希
望する進路の実現」。ひと



和太鼓部、新大工夏祭りで頑張ってくれました

りになって、ひとつになっ
て、打ち込み、粘り、欲を
出し、一人一人の力を存
分に発揮して、学年・クラ
スやチームが団結し、素
晴らしい思い出を創るの
が2学期。行事や部活動
ばかり一生懸命に取り組
んではいけません。1時
間1時間の授業を大事に
してほしい。教科の授業
や地域学習、STの時間
で多くのことを学んだり、
あなただけの目標を設定
して、キミビナを家庭でも
どんどん活用して、わかっ
たとき・できたときの喜
びをたくさん味わってほ
しいと思います。

そして、2学期は「自
律した学習者」になる
ことを一つの目標にして
ください。

もうひとつの目標として
「ルールやマナー！モ
ラルに対する意識を
高める」2学期にしよう。
1学期の生徒総会で、「学
校に不必要なものを持つ
てきている生徒が多い」
との残念な意見がたくさ
ん各学級から出されまし
た。先生の耳にも、諏訪小
や伊良林小の校長先生、
地域の方から、「桜中生が
学校の登下校時にスマホ
を操作しながら歩いてい

る」との声が聞こえてい
たのが1学期でした。そ
んな話を聞くと、とても
悲しくなりました。「見つ
からなければ、何をして
もいい」「きまりを破って
もいい」と思っている人が
桜中生の中にいるってこ
とはとても残念なこと
でした。

「あじみそ・マモル」って
言葉知っていますか。「あ
じみそ」とは「挨拶・時間
を守る・身だしなみ・掃除」
の頭文字。学校内外で守っ
てほしいことを示したも
の。マモルは「マナー」
マラル・ルールのこと。
ルールは、法律や規則の
ことで、守る義務がある
のがルール。だから、「桜
中ルール」は守る義務が
あります。

マナーとは、あなたの周
りにいる人を守るために
あるもの。日本語に訳す
と「礼儀・作法」となるわ
けですが、私はそこに「気
遣い」とか「思いやり」「心
配り」という言葉が含ま
れていると思っています。
あなたがマナーを守る
ことで、あなた自身が守
られます。マナーを守る
ことで、お互いが心地よ
く過ごせるようになるの
です。マラルとは、「倫理」
や「道徳意識」のこと。人
間あるいは市民として、
守るべき価値観のこと。
他人に迷惑をかけない、
うそをつかない、悪口を
言わない、など、人生や社
会に対する精神的な態度
を指します。だから、相手
と自分の「マモル」は異な
ります。だから、これらの
3つの中で一番実行が難
しくてその価値が高い
のは「マモル」です。

マナーやマラルを身に付
ける人が増えれば増える
ほど、桜中の雰囲気はよ
くなります。例えばあい
さつ。もし、「学校や地域
ですれ違う際はあいさつ
する」というルールなら、
あいさつを交わしたとこ
ろで、お互い何とも思っ
た。でも、マナーとし

てマラルとして自然にあ
いさつを交わすようにな
れば、気持ちがいいはず
です。掃除も同じ。「〇曜
日の▼時に掃除をする」
というルールなら、肅々
とやるだけです。でも、空
き時間や隙間時間を使っ
て、マナーやマラルとし
て取り組んだのであれば、
感謝の気持ちが生まれま
す。

同じ行動でも、ルールと
マナー・モラルでは相手の
捉え方が180度違いいま
す。ルールだと、「当たり
前に感じる」ことが、マナ
ーやモラルになると「ありが
たうに代わる」んです。誰
もがその日その日を快適
に心穏やかに楽しく過
したいと願っています。相
手のことを思いやり、心
配りをする、マナーやモ
ラルの広がりが増えれば、
桜中をつくり変えます。地
域の方からも「桜中の生
徒、2学期 なんか変わっ
たね。成長したよねえ」な
んてお褒めの言葉をいろ
んな方からいただくこと
が増えてくる2学期にし
ましよう。

日々マナー・モラル・ル
ールを意識し、それを守ろ
うとする行動や態度は、
あなたの習慣や人格を変

え、ゆくゆくは運命をも変えていく力を秘めている可能性があります。

- 1 意識が変われば行動が変わる
 - 2 行動が変われば習慣が変わる
 - 3 習慣が変われば人格が変わる
 - 4 人格が変われば運命が変わる
- (アメリカの哲学者・心理学者 ウィリアム ジェームスの言葉)

自分自身のルール・マナー！
モラルを身に付け、自分の行動をコントロールする2学期に、SNSの使用方を気をつける2学期

に、メデイコンルールが守れる2学期にしよう。

- 次の6つの項目は「自律した学習者」になるためにとても大切なことです。1学期、△の評価だった人は○に、○の評価だった人は◎になるように努力しよう。
- 1 いつでも、どこでも、だれとでも「桜色のあいさつ」ができた。
 - 2 自分のスケジュールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしないで登校できた。
 - 3 自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、意欲的に取り組んだ。
 - 4 いろいろな活動の中で、



浦山生徒会長、中学生議会に参加。堂々の発言

- 課題を発見・解決しながら、日常生活をよりよいものにしよう頑張った。
- 5 言葉を大切にし、互いを認め、励まし合うことができた。
 - 6 学校行事や部活動・習い事に意欲的かつ、積極的に取り組むことができた。
- 自分で立てたスケジュールに沿って自分のことは自分で責任を持つてやっていくことができた2学期になることを期待しています。

2学期のキーワードを『自分で考えて、自分で決めて、自分で動』

き出す」とします。

自分の良さや可能性を生かし、自信をもって、キラキラ輝きながらのびのびと学び、生活する2学期にしましょう。

今日は桜が私の誇り
明日は私が桜の誇り

ひとりになれる
ひとつになれる

打ち込め
粘れ
欲を出せ

見えないだけ

牟礼 慶子

空の上には
もっと青い空が浮かんでいる
波の底には
もっと大きな海が眠っている
胸の奥で
言葉が育んでいる優しい世界
次の垣根で
蕾をさし出している美しい季節
少し遠くで
待ちかねている新しい友だち
あんなに確かに在るものが
まだここからは見えないだけ

見えないものはたくさんあります。その見えないものを見るのは人間に与えられた力でしょうか。少しでも見える人間になりたいと思いますが。

◎桜中生として求められている「当たり前」のことを実践する77日間にしよう。

◎一人一人が「当たり前」の意識を高め、「当たり前」のレベルを上げること、自分の「当たり前」を見つめ直し、改善することで、中身の濃い2学期にしよう。

■部活動の下校時刻が変わりました。

9/1～10/31の期間は、

18時30分が完全下校となります。

■3年生の第3回実力テストの実施日を変更します。

【変更前】10月11日(金)

【変更後】**9月30日(月)**

【変更理由】

公立高校入学選抜の日程が、今年度から早くなったため。

ABCDの法則

- A 当たり前のことを
- B ばかにしないで
- C ちゃんとする人が
- D できる人になる